

分 類：基礎医学Ⅱ

授 業 科 目 名：細胞の構成と機能Ⅱ（cell structure and functionⅡ） - 神経科学・神経内分泌学 -

対 象 学 年：1年次 必修

時間割コード：71563003

開 設 学 期 等：第2週～第16週（毎週木曜日5-6時限）

単 位 数：0.5

1. 主任教員

沼田朋大（教授、器官・統合生理学講座、6272）

2. 担当教員

沼田朋大（教授、器官・統合生理学講座、6272）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

内分泌ホルモン学を通じて（１）生体の恒常性維持と適応を説明できる。（２）恒常性維持のための調節機構を説明できる。（３）情報伝達の種類と機能を説明できる。（４）受容体による情報伝達の機序を説明できる。（５）各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。（６）視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。（７）甲状腺から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（８）骨代謝に関わるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（９）膵臓から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（１０）副腎から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（１１）男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。（１２）消化管から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（１３）脂肪から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。（１４）性生殖器官について、機能と発生過程について説明ができる。

4. 教科書・参考書

（教科書）

「人体の正常構造と機能」日本医事新報社

（参考書）

「標準生理学」医学書院

5. 成績評価の方法

出席状況、レポート及び試験

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・教科書および配布資料に沿って講義を進める

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	10月6日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：総論 (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
2	10月13日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：視床下部ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 視床下部ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
3	10月20日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：下垂体前葉ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 下垂体前葉ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
4	10月27日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：下垂体後葉ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 下垂体後葉ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
5	11月10日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：甲状腺ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 甲状腺ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
6	11月17日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：骨代謝とホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 骨代謝とホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	11月24日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：膵ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 膵ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
8	12月1日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：副腎皮質ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 副腎皮質ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
9	12月8日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：副腎髄質ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 副腎髄質ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
10	12月15日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：性ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 性ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
11	12月22日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：内分泌ホルモン：消化管ホルモン、脂肪ホルモン (1) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。(2) 恒常性維持のための調節機構を説明できる。(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。(4) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。(5) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。(6) 消化管や脂肪ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
12	1月5日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：生殖機能(1) 男性生殖器 (1) 男性生殖器の機能と発生を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
13	1月12日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：生殖機能(2) 女性生殖器 (1) 女性生殖器の機能と発生を説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室
14	1月19日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：生殖機能(3) 妊娠と分娩、性周期 (1) 乳房の機能と構造を説明できる。(2) 妊娠・分娩について生理的変化過程を説明できる。(3) 性周期と閉経のリスクについて説明できる。	沼田朋大	講義棟第一講義室